

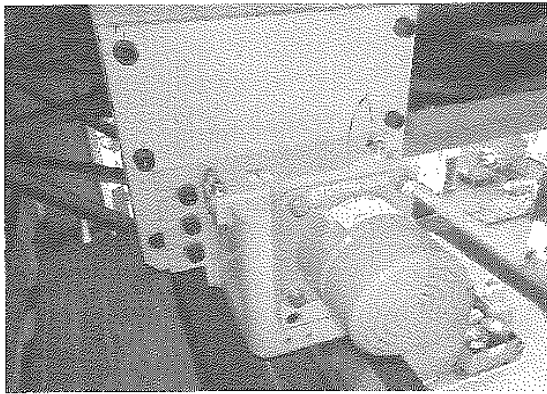
当会会員の中山機械（株）（北広島市）が、
平成30年9月19日(水)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

脱輪防止、地震に備え

中山機械 天井クレーン用拡販

OEM供給も

【札幌】中山機械（北広島市、西村隆朗社長、011・373・3521）は、地震対策用の天井クレーンの脱輪防止装置の販路を広げる。同業のクレーンメーカーに製品を提供するほか、OEM（相手先ブランド）生産にも対応する。価格は取り付け費を含めて100万～400万円程度。2018年度に150台の



販売を目指す。国内で地震が頻発する中、取扱先を増やし、顧客の

天井クレーンの脱輪防止対策を促す。同社のクレーン脱輪防止装置「レールトレーサー」は、

地震で揺れた時にレールを追従できる補助車輪やバネなどで構成。天井クレーンの走行駆動部分に取り付けて使用する。地震でクレーンが浮き上がった場合、装置のバネが補助車輪をレールに押しさえつけクレーンの脱輪・落下を防ぐ。脱輪防止装置は自重40t以下のクレーンに対応する。クレーンの種類によって外付けと内蔵の2タイプあり、クレーンの自重により各4タイプそろえた。同業他社に製品を提供しても、量産効果によるメリットを確保でき

るとみる。

地震発生時に、工場内の天井クレーンが脱輪・落下すると、作業者や設備・機器に深刻な損害を及ぼす場合がある。また、復旧作業では天井クレーンを使う場合が多く、使用できないと復旧にも支障が生じる。

同社のクレーン脱輪防止装置は、11年に発生した東日本大震災クラスの地震でもクレーンの脱輪・落下を防げることがシミュレーションで確認している。